

## コシアカツバメ



コシアカツバメは、名前のおり腰が赤褐色のツバメの仲間です。水鳥公園では、春と秋にツバメの群れの中に時々

少数混じっています。素早く飛び交うツバメの中で、コシアカツバメを見つけるのはなかなか難しいですが、腰が赤褐色であることや飛び方の違いが、発見のよい手がかりとなります。

コシアカツバメは、ツバメよりも滑空を多く交えて飛ぶ傾向があります。また、尾羽の両端がツバメよりも長く伸びていて、お腹には縦筋のまだら模様があります。腰が見えなくても、これらの特徴に気づくことができれば見分けられます。ツバメよりも体が大きくて、ゆったりと滑空して飛ぶ姿や、尾羽が細長く伸びた姿はカッコよく、数が少ないという特別感も相まって、観察できるとお得感のある鳥です。

平成29(2017)年9月9日の朝に、水鳥公園と農地とを隔てる土手の周りを、数十羽のコシアカ

ツバメが飛び交っていました。いつもはツバメの大群の中に少しだけ混じっている程度ですが、この群れはほとんどがコシアカツバメで、ツバメがごくわずかに混じるとい、いつもと逆の状況でした。珍しい光景なので、しばらくその様子を観察していたところ、よく見ると空にたくさん小さな虫が飛んでいました。どうやらコシアカツバメたちは、この虫を食べるためにここに集まっていたようです。



飛び交う小さな虫とコシアカツバメ

9月に水鳥公園に群れていたコシアカツバメは、越冬地をめざす旅の途中に立ち寄ったものと思われる。東南アジアや中国の南部へと渡りをする中で、水鳥公園は食べ物である小さな虫がたくさん食べられる、絶好の補給基地だったのでしょ。

皆さんも、水鳥公園でツバメがたくさん飛んでいる光景に立ち会った際には、ぜひ望遠鏡や双眼鏡でコシアカツバメ探しに挑戦してみたいかでしょうか。発見できた時の達成感は格別です。

米子水鳥公園主任指導員 桐原 佳介



コアオアシシギ

## 9月に見られる生きものたち

鳥類：シマアジ、コバクチョウ、マガモなどのカモ類、ダイサギなどのサギ類、オオタカなどのタカ類、カワウ、カイツブリ、オオバン、コアオアシシギなどのシギ類、クロハラアジサシ、コヨシキリなどの小鳥類 哺乳類：アブラコウモリなど 爬虫類：ミシシippアカミミガメなど 魚類：メダカなど 昆虫類：ショウリョウバッタ など。

## 9月の催し

### コハクチョウ初飛来日クイズ2018

今年のコハクチョウの初飛来日を予想して投票してもらい、正解者にはもれなく記念缶バッジを贈呈。さらに抽選で3名様に羊毛フェルトのコハクチョウをプレゼントします。9月1日(土)受付開始。対象：期間中のネイチャーセンター入館者。応募方法：入館時に配布する応募用紙に必要事項を記入し、応募用紙を館内の応募箱に入れます。応募は一人につき1回とさせていただきます。応募



昨年の当選者プレゼント

募期間：9月1日(土)からコハクチョウが初飛来するまで。

### 手作り自然教室

#### 「カエル工房 in 米子水鳥公園」



プロのレプリカ職人をお招きし、本物そっくりなカエルのレプリカを作ります。2日(日)午後1時30分～4時30分。講師：カエル工房。対象：小学生以上がおすすめ。定員20人・要予約。

#### 「絶滅危惧種の虫を探そう！」

園内で昆虫採集をして、絶滅危惧種の虫を探します。17日(月・祝)午前10時～正午。対象：小学生以上がおすすめ。定員12組・当日受付。



- 持ち物、服装は予約時にご確認ください。
- 会場はすべて、水鳥公園ネイチャーセンターです。
- 水鳥公園の催しは、一部を除いて鳥取県民カレッジ連携講座です。
- 水鳥公園の催しへの参加には入館料が必要です。
- 入館料は、高校生～69歳の方は310円、その他は無料です。
- 開館時間 午前9時～午後5時30分
- 休館日 毎週火曜日